

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月7日(2022.3.7)

【公開番号】特開2020-162926(P2020-162926A)

【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2019-67251(P2019-67251)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/10 300

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月25日(2022.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源からの光を被検眼の組織上で走査する走査手段と、前記組織からの戻り光を受光する受光素子と、を含む撮影光学系と、

前記受光素子からの信号に基づいて複数枚の被検眼の画像を撮影する撮影制御手段と、画像処理手段と、を備え、

前記画像処理手段は、

複数枚の前記被検眼の画像のうち何れかをテンプレートとして、前記被検眼の画像と前記テンプレートとの対応点または対応領域が、前記被検眼の画像と前記テンプレートとの複数の位置に設定されると共に、前記対応点毎または前記対応領域毎の移動量を算出するローカルマッチング、

前記テンプレートに対する前記被検眼の画像の2次元的な歪みを、前記対応点毎または前記対応領域毎の前記移動量に基づいて補正する歪み補正処理、を実行する、眼科撮影装置。

【請求項2】

前記ローカルマッチングにおいて、前記対応点または前記対応領域は、前記被検眼の画像の縦方向および横方向にそれぞれ複数設定される、請求項1記載の眼科撮影装置。

【請求項3】

前記画像処理手段は、前記ローカルマッチングにおいて、前記対応点毎または前記対応領域毎に、前記被検眼の画像と前記テンプレートとの類似度を求め、前記類似度に応じて、前記対応点または前記対応領域をより密に設定して前記ローカルマッチングをやり直す、請求項1又は2記載の眼科撮影装置。

【請求項4】

前記画像処理手段は、歪み補正後の前記被検眼の画像と前記テンプレートとを比較すると共に、比較結果に応じて、前記対応点または前記対応領域をより密に設定して、前記ローカルマッチング、および、前記歪み補正処理をやり直す、請求項1から3のいずれかに記載の眼科撮影装置。

【請求項5】

コンピュータのプロセッサによって実行されることにより、

走査型の撮影光学系において撮影された被検眼の画像を複数枚取得する取得ステップと、

50

複数枚の前記被検眼の画像のうち何れかをテンプレートとして、前記被検眼の画像と前記テンプレートとの対応点または対応領域が、前記被検眼の画像と前記テンプレートとの複数の位置に設定されると共に、前記対応点毎または前記対応領域毎の移動量を算出するオーカルマッチングと、

前記テンプレートに対する前記被検眼の画像の歪みを、前記対応点毎または前記対応領域毎の前記移動量に基づいて補正する歪み補正処理と、を前記コンピュータに実行させる眼科用画像処理プログラム。

10

20

30

40

50